

門真市文化芸術推進基本計画（案）に係るパブリックコメント結果について

門真市文化芸術推進基本計画に、できる限り多くの意見を聴取し反映するため、パブリックコメントの実施とともに、その期間中に開催しました門真市文化推進審議会と文化フォーラムについても新たに意見聴取の場を設置し、パブリックコメントの一環として位置付け、公表するものです。

1. 案件名

門真市文化芸術推進基本計画（案）

2. 意見等募集期間

パブリックコメント 令和3（2021）年1月15日（金）～2月5日（金）

審議会・文化フォーラム 令和3（2021）年1月20日（水）

3. 実施機関（担当所管課）

(1) 名称：市民文化部生涯学習課社会教育・文化振興G

(2) 電話番号：06-6902-7139（直通）

4. 閲覧場所

生涯学習課、市情報コーナー、南部市民センター、ルミエールホール、中塚荘、門真市民プラザ、文化会館、公民館、図書館本館、市ホームページ

5. 受付した意見等の件数

パブリックコメント 計3件

文化フォーラム 計0件

審議会意見 計5件

合 計 計8件

6. 意見等に対する考え方

下表のとおり

【パブリックコメント】

	提出された意見	意見等に対する考え方
1	<p>①音楽分野では、特に市内小中学校での合唱活動がもっと活発になってほしいと思います。現在の門真市には合唱をする子どもの数は少なくなっているのではないのでしょうか。数十年前までは、門真の少年少女合唱はとても活発だったと、その頃を懐かしく話される方に時折お会いします。文化芸術を守り推進するためには、公民が協力し、困難な場面に当たっても継続していくことが大切だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校コーラス部の設置 ・ルミエールホールでの活動支援 ・少年少女合唱の復活 <p>など。</p> <p>②一昨年の100人会議に出席しましたが、皆さんの日ごろの活動や、今後したいことなど、いろいろな思いや課題を解決するための方法などが意見として出されたように思います。このような声かどのように生かされているのかという部分が市民にもっと分かりやすい媒体で周知されれば、門真市の計画が市民意見を反映したものだということがよくわかるものになると思います。</p>	<p>①P25「基本方針と具体施策」にあります「柱1：市民文化活動の活性化」で「学校教育での文化芸術活動の推進」と示したとおり、協働で地域の学校支援活動に努めます。</p> <p>少年少女合唱団に類似するものとして、ルミエールホールの指定管理者が自主事業として育成しているジュニアコーラスがあります。指定管理者と協議、連携しつつ、まちかど・まちなかコンサートや市文化祭など成果発表の機会づくりを引き続き支援します。</p> <p>②ご意見を反映させるべく、P3「門真市文化芸術推進計画の概要」の前に、市民100人会議での意見、提案や市民アンケートの回答を「6つの視点」を踏まえて整理した「市民の声を反映した計画の『柱』」というページを新たに加えました。</p> <p>また、P32以降の資料編にも、市民100人会議の結果と市民アンケートの回答をまとめたページを新たに加え、市民100人会議や市民アンケートの実施日・期間などを資料5「計画の策定過程」に反映しました。</p> <p>さらに、本計画は市職員によ</p>

		<p>る庁内検討委員会によって計画づくりを進めておりますが、市民 100 人会議と市民アンケートでのご意見が、同委員会で考えた計画の方向性を示す 6 つの視点とどのように連携しているかが見て取れるように、P 4「計画のイメージ」の後に市民の声の反映を示す「市民の声を反映した計画の『柱』」というページを新たに加えました。</p>
2	<p>街中で文化に触れる機会を作りたいと思い、郵便局を活用してほしいとおもいました。コツコツと動かして変えて行きます。いろいろ情報が欲しいです。</p>	<p>P 29「まちかど・まちなかギャラリー：パイロットプロジェクト①」において、地域や商業施設の空きスペースを活用した展示などを検討する中で、市内郵便局での同時開催といった展開も期待しております。</p> <p>パイロットプロジェクト検討会議で検討を重ね、適宜情報を提供していきます。</p>
3	<p>①素案について、いろいろ盛り込みすぎているのでシンプルに整理が必要。全体的にゴチャゴチャしていてわかりにくい。わかりやすく説明しようとして、かえってわかりにくくなっている。</p>	<p>①盛り込むべき内容を精査しておりますが、計画全体でデザインを工夫しました。</p> <p>まず P 1 の「本計画の策定にあたって」を、P 1「あいさつ」という形で市長の言葉を掲載しました。</p> <p>また、P 1 の目次の後ろに「計画の策定にあたって」というページを新たに加えました。</p> <p>さらに、P 28 から P 30 までのパイロットプロジェクトに関する内容及び P 31「諮問書」及び</p>

②ところで、スポーツは文化活動ではないのか？高齢者がフレイルにならないための体操も文化活動といえるのでは？ダンスや体操・フィギュアスケート、アーティスティックスイミングも。バレリーナは芸術家であり、アスリートでもあります。バレエは総合芸術です。こう考えてくると、私達は何かしらの文化活動を日々行っていると思います。「文化・芸術」人を元気にするもの、生きてくうえで必要なもの。人それぞれで…。けっこう身近なもの、生活に必要なもの。文化芸術は四文字熟語ではないと思います。分けて考えた方がよいです。その方が理解しやすいと思う。P7の振興の対象としています。

③新図書館、とても楽しみです。今後、市外からも来館者がこられると思います。ルミエールホールも関西フィルのおかげもあり、来場者も増えると思いますので、古川橋駅の名称を「門真古川橋駅」に変更したらどうでしょう。「門真市駅」でおりてしまう事を防ぐためにも、何か考えてもよいのかなと思います。

「答申書」をP32以降の資料編に移し、わかりやすい見出しにしました。

なお、P26 関西フィルハーモニー管弦楽団と（仮称）門真市生涯学習複合施設の事例は、本市の現在のトピックスでもあることから、これらをまとめたページを新たにP13「本計画づくりに参加した市民の声」の後ろへ加えました。

②本計画は、文化芸術基本法第7条の2に規定する地方文化芸術推進基本計画として位置付けており、同法が対象とする文化芸術の範囲はP8のとおりとなっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

③貴重なご意見として、今後の市のまちづくりのご参考とさせていただきます。前述のとおりトピックスとして、関西フィルハーモニー管弦楽団と（仮称）門真市生涯学習複合施設の事例をまとめたページを新たにP13「本計画づくりに参加した市民の声」の後ろへ加えました。

<p>④計画を作り始められてから今日に至るまでに、文化芸術活動にとって大きな影響があることが起きました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、さまざまな制限があったり、市民も出るのを控えたりして、多くの活動が影響を受けています。コロナ禍により変わった点や今後の対応などの記載があってもよいのかなと思います。</p>	<p>④ご指摘のとおりであり、「計画の策定にあたって」というページを新たにP 1「目次」の後ろへ加え、コロナ禍の今だからこそ一人ひとりの力、地域のコミュニティ力がより求められているという考えを示しました。</p>
---	--

※上表の「提出された意見」の内容は提出された原文を記載しています。

【審議会】

1	<p>①まちの活性化には文化芸術が必要だと書く、活性化するために無理やり何かしてくださいと言うような気がするので、文化芸術によりまちが活性化しますというように逆にするとかというふうに感じました。</p>	<p>①P 5「なぜこの計画が必要なのか」という問いに対し、「文化芸術を推進し、市民が主体となって活躍する場をつくること、本市の地域活性化や産業振興などにつながるためです。」と修正しました。</p> <p>また、P 9「この計画書は一体なに？」という問いに対し、「令和3（2021）年度から10年かけて、文化芸術を活かした魅力ある門真市をめざすための計画です」とわかりやすく表現しました。</p>
2	<p>①創造都市ネットワーク日本ということで、全国160都市くらい入っており、その定義が文化芸術と産業都市との創造性に富んだ都市が創造都市という言い方でホームページに書かれています。そういう世界的なクリエイティブネットワークにつながっている世界的な動き、日本の動きもあるというような注釈を一つ入れていただきたいです。</p>	<p>①P 3「門真市文化芸術推進計画の概要」に『『クリエイティブ・シティって何？』』という枠を設け、当該意見を反映できるよう努めました。</p>

	<p>②12万人市民が、同じ未来を持つというのは、ちょっとという気がします。輝く未来をめざしてみんなが歩むためにということなのだろうと思いますので、工夫いただければ。</p>	<p>P7の見出し「みんなが同じ未来をめざし歩むために」を「みんなが輝きのある未来へと歩むために」としたほか、計画全体の見出しを再度精査し、P12では4行にわたる見出しを1行にしたほか、資料編へ移すこととしたP28の見出し「門真のまちをアートで染めよう」を「パイロットプロジェクト」と修正しました。</p>
3	<p>①本編に行くまでに疲れると思います。1ページ目に市民である誇り魅力あるまちにするために文化芸術の振興というのを大きく取り上げればと思います。</p>	<p>①前述のコロナ禍の影響と今後の対応とも合わせて、冒頭部分に「計画の策定にあたって」というページを新たに加え、主旨を伝えられるよう努めました。</p>
4	<p>①やはりいい計画ができて、読んでいただかないと意味がないです。やはり目を引くようなデザインと言いますか、構成にすればよいかと思っています。</p>	<p>①他のパブリックコメントや審議会でのご意見と合わせ、構成の見直し・配置転換するなど、計画全体でデザインを工夫しました。</p> <p>デザインにつきましては、印刷作業前の最終工程となりますが、十分に配慮します。</p>
5	<p>①本編に入るまでのところで、4つの柱というか基本的な指針というものが整理されていると非常にわかりやすいのではということをお印象として持っています。</p>	<p>①ご意見を反映させるべく、P3「門真市文化芸術推進計画の概要」の前に、市民100人会議での意見、提案や市民アンケートの回答を「6つの視点」を踏まえて整理した「市民の声を反映した計画の『柱』」というページを新たに加えしました。</p>

②本来の意味での市の地位向上、これがプロモーションじゃないかという気がします。もし、市の広報発信の強化ということであれば、ダブる気がします。そのあたりを整理いただければ。

③いわゆる本格的な文化活動の鑑賞、あるいは鑑賞者としてかかわれるような文化活動も活性化の一つとしてうたった方が良いのではないかと思います。

②ご指摘のとおりであり、P26「柱3 シティプロモーションと市民の情報発信力強化」を「市民の情報発信力強化によるシティプロモーションの推進」と表現しました。

③先の門真市文化芸術振興基本方針策定時に、行政等からの提供型の文化芸術事業から協働型事業への転換を図りましたが、もとより身近な文化活動の促進や学校教育での文化芸術活動の推進など鑑賞を前提とした考え方に基づいております。

活動支援の側面には鑑賞者の視点も含まれることから、P16の「視点②参加機会 世代・障がいを超えて誰もが参加できる機会の創出」で掲げている「誰もが参加できる機会」において、「文化芸術に親しむ機会」を「文化芸術に鑑賞・参加・創造できる機会」という表現にしました。

さらにP21「柱1 市民の文化活動の活性化」で掲げている基本方針のうち「身近な文化活動の促進」において、「文化芸術の体験機会を増やし」を「文化芸術の鑑賞や体験機会を増やし」という表現にしました。